

鎌倉七切通しウォーク大会



【大会概要】

集 合: 午前8時30分(金沢八景公園)

出 発: 午前9時頃、3グループに分けて出発

ゴール: 午後4時頃(鶴岡八幡宮)

距 離: 1日コース 23 km、半日コース 13 km

参加者: 109 名

スタッフ: 23 名

踏破者: 100 名(スタッフ含む)

【コース】

～朝夷奈(あさいな)切通し～名越(なごえ)切通し～鎌倉海浜公園(昼食・一次解散)～極楽寺(ごくらくじ)坂切通し～大仏(だいぶつ)切通し～化粧(けわい)坂切通し～亀ヶ谷(かめがやつ)坂切通し～巨福呂(こぶくろ)坂切通し～

【レポート】

START

ウォーク大会当日は、集合時は少し雨の心配はしたものの、出発時にはまさにウォーキング日和ともいえる良い天候に恵まれました。

ウォーキングは、スタッフ23名を含め、総勢132名です。参加者を3班に分け、5分間隔で最初の目的地である朝夷奈切通しに向けて元気よく出発です。



朝夷奈切通し

鎌倉七切り最初の切通し、**朝夷奈切通し**に入ると勾配がきつくなり、道路が濡れコケもあり滑りやすので、皆さん慎重に足を進めていました。



名越切通し

朝夷奈の次は**名越切通し**です。

朝夷奈切通しを過ぎて一度一般道に出た後に自然ふれあいの森に入ります。浄妙寺緑地を過ぎると、鎌倉では有名なイワタバコ（日の当たらない湿った岩場などに生え、タバコに似た形の葉を付ける）が群生しております。



途中には、山の斜面を垂直に削り出して造られた崖、切岸が連なっています。中でも「お猿畠の大切岸（おさるばたけのおおきりぎし）」は有名です。

一 休 み

名越切通しを過ぎて、参加者の皆さんに疲れが見え始めた頃、途中のコンビニエンスストア前で、主催者から参加者全員にアイスクャンデー「ガリガリ君」が振る舞われました。ここで皆さん俄然元気を取り戻し、昼食場所である鎌倉海浜公園まで頑張りました。

(鎌倉海浜公園が、半日コース(13 km)のゴール地点です。)

極楽寺坂切通し

昼食後、鎌倉海浜公園を出て、江ノ電・極楽寺駅方向に向かいますが、この通りに**極楽寺坂切通し**があります。道路の左右は山を切り開いたようになっておりますが、朝夷奈切通しや名越切通しと違って、現在は車も通行可能な道路となっております。



大仏切通し

極楽寺坂切通しの次は、七切通しの中でも一番の難所である**大仏切通し**です。

左右に切り立った崖に囲まれた道は圧巻です。流石に参加者らも雑談することもなく黙々と歩いていました。



この大仏切通しですが、こんな険しい道であるにもかかわらず、時折、行き交うハイカーがおり、何故かその大半が外国の方でした。

化粧坂切通し

源氏山公園でトイレ休憩の後、化粧坂切通しです。

急な勾配にむき出しになった岩肌、曲がりくねった道、さらに至るところに湧き水があるなど、滑りやすくとても険しい下り坂でした。段差の大きな箇所ではスタッフが補助をしていました。



亀ヶ谷坂切通し

次は亀ヶ谷坂切通しです。

あまりに急な坂に亀も引き返したという逸話が残るほどの坂道ですが、今は自転車やバイクが通る生活道路となっております。道路の左右は切り開かれた崖になっており切通しであることが分かります。



亀ヶ谷坂を下ると、静寂な雰囲気が一変し、車の往来が激しい県道・横浜鎌倉線へと出ます。右折すると、すぐに鎌倉五山筆頭の臨済宗建長寺が見えてきます。さらに進むと、本日のゴールの鶴岡八幡宮に到着です。

巨福呂坂切通し

鎌倉七切通しの最後は巨福呂坂切通しです。

建長寺の前を過ぎると切通しのような巨福呂坂トンネルがありますが、この道ではありません。巨福呂坂切通しは、このトンネルの西側にありますが現在は通れません。



GAOL

午後4時過ぎにゴールの鶴岡八幡宮に到着です。

スタッフから完歩のスタンプとシールをもらった後、踏破証を受け取り流れ解散となりました。



これで、総距離 23 km の「鎌倉七切通しウォーク」が終了です。

参加者の皆さん本当にお疲れ様でした。

次回の参加をお待ちしております。

記：神奈川歩け 星野 昌史